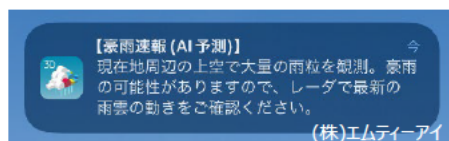


- 次世代の気象レーダであるマルチパラメータフェーズドアレイ気象レーダ（MP-PAWR）及び雨雲の観測データの効率的な伝送が可能なデータ圧縮復元技術等を活用し、大阪周辺地域の積乱雲等の立体的な雨雲の観測を行う。
- NICT等の実施主体が産官学の連携により、これまでにない高精度な気象予測情報を来場者、博覧会協会等へ提供する。

<提供方法・内容>

- ① スマートフォン無料アプリ「3D雨雲ウォッチ」にて、雨雲の3D描画と、豪雨予測のプッシュ通知を提供。
- ② 理化学研究所のHPにて、豪雨予測情報を提供（スーパーコンピュータ「富岳」を利用して実施。）

①アプリでのプッシュ通知イメージ



②理研HPでの予測イメージ



※「富岳」の予測について、アプリでは、最大30分先の3D描画・プッシュ通知、HPでは2D予測を提供

①アプリでの3D描画イメージ



<実施主体>

- ・ (国研)情報通信研究機構(NICT)、(国研)理化学研究所、(国研)防災科学技術研究所、大阪大学、(株)Preferred Networks、(株)エムティーアイ

<期間>

- ・ 万博開催期間（2025年4月13日～10月13日）
（「富岳」を使用した豪雨予測は、8月5日～8月31日の27日間。）

●MP-PAWR

高精度に三次元観測ができる次世代の気象レーダ。総務省、NICT等で開発。急速に発達する積乱雲を早期に検知可能。
（観測時間：MP-PAWR 30秒、従来式 5分～）

●MP-PAWRと会場の位置関係

NICT未来ICT研究所（神戸市）及び大阪大学（吹田市）に設置。

